

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、大幅に増加している。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。住宅投資は、持ち直している。この間、生産は、緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

（1）公共投資・・・大幅に増加している

4月の公共工事請負金額は、県、市町村などの発注が増加したため、前年を上回った。

（図表1）公共工事請負金額

前年比、%

	2024年 6月	9月	12月	2025年 2月	3月	4月
山形県	▲3.2	11.8	▲45.8	127.6	62.3	17.2

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

（2）設備投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

3月短観の設備投資計画（全産業）をみると、2024年度は、製造業、非製造業ともに増加し、前年度を上回る計画となっている。一方、2025年度は、製造業、非製造業ともに減少し、前年度を下回る計画となっている。

この間、3月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業、宿泊・飲食サービスなどが増加したため、前年を上回った。

（図表2）県内企業の設備投資額（2025年3月山形短観）

前年度比、%

山形県	2023年度(実績)	2024年度(計画)	2025年度(計画)
全産業	▲4.4	15.3< 5.5>	▲26.8
製造業	▲5.5	11.7< ▲0.8>	▲21.2
非製造業	▲2.1	22.4< 19.0>	▲36.7

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

（図表3）建築着工床面積（民間非居住用）

前年比、%

	2024年 6月	9月	12月	2025年 1月	2月	3月
山形県	144.0	10.5	▲39.9	▲46.4	93.7	231.2

＜資料＞国土交通省

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している

3月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターは、いずれも前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売

前年比、%

山形県	2024年 7～9月	10～12月	2025年 1～3月	2025年 1月	2月	3月
全店	0.3	0.8	3.8	3.4	3.2	4.8
既存店	▲0.7	0.8	3.8	3.4	3.2	4.8

＜資料＞経済産業省

4月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を上回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数

前年比、%

山形県	2024年 6月	9月	12月	2025年 2月	3月	4月
乗用車 合計	▲6.4	5.2	▲9.5	20.4	19.5	7.5
普通車	▲7.2	6.4	▲2.6	14.8	0.5	1.2
小型車	▲23.6	▲7.3	▲17.5	30.6	48.8	8.0
軽四輪	6.7	12.7	▲11.3	20.1	26.8	14.5

＜資料＞東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに増加している。

(4) 住宅投資・・・持ち直している

3月の新設住宅着工戸数は、貸家は減少したものの、持家と分譲は増加したため、前年を上回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数

前年比、%

	2024年 6月	9月	12月	2025年 1月	2月	3月
山形県	▲8.2	5.3	18.2	2.2	▲11.3	11.2
持家	13.9	0.0	28.1	32.0	▲2.5	35.3
貸家	114.1	16.1	6.5	▲54.0	▲8.2	▲19.2
分譲	▲87.8	▲2.9	4.8	▲7.7	▲31.0	34.5

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直している

2月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った。業種別にみると、電子部品・デバイス、汎用・生産用・業務用機械など13業種は上昇したものの、化学、非鉄金属など9業種は低下した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

（図表7）鉱工業指数

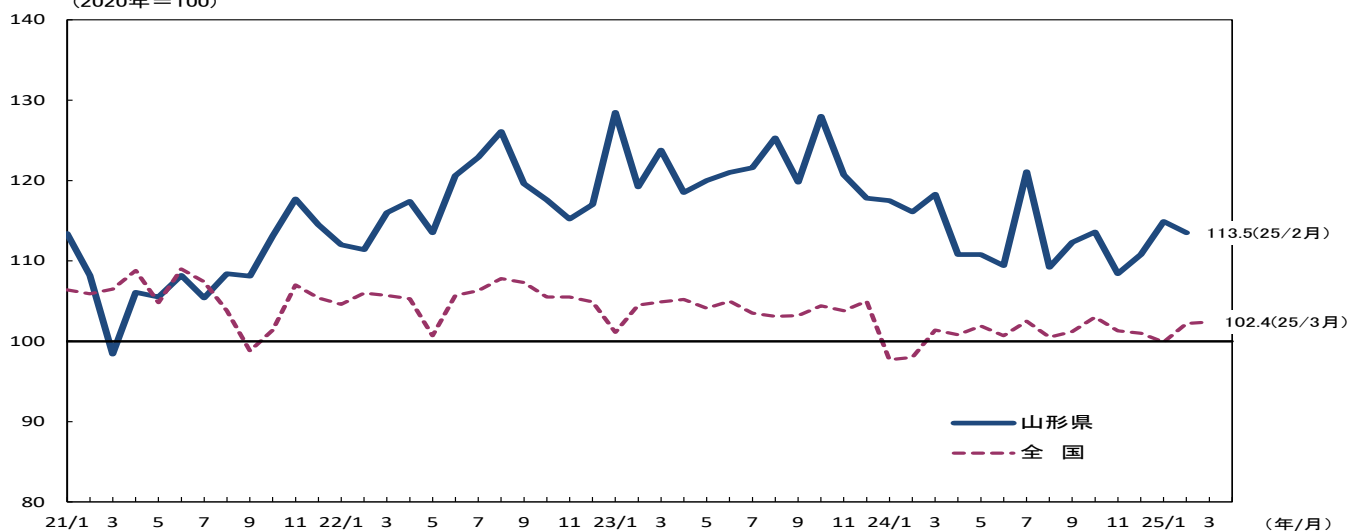
2020年基準

山形県		2024年 3月	6月	9月	2024年 12月	2025年 1月	2月
生 産	季節調整済前月比%	1.9	▲1.3	2.8	2.2	3.7	p ▲1.2
	原指数前年比%	▲8.3	▲13.2	▲7.0	▲4.1	▲2.2	p ▲1.6
在 庫	季節調整済前月比%	5.4	▲2.5	0.8	▲0.1	▲0.5	p ▲1.1
	原指数前年比%	8.4	▲3.0	0.4	▲6.7	▲3.9	p ▲5.5

＜資料＞山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2020年＝100）



＜資料＞経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・改善している

3月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.35倍となった。業種別の新規求人数をみると、卸売・小売、製造業などが減少した一方、サービスなどが増加した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2024年 7～9月	10～12月	2025年 1～3月	2025年 1月	2月	3月
有効求人倍率	1.35	1.33	1.35	1.38	1.33	1.35
完全失業率	1.9	1.6	n. a.	—	—	—

＜資料＞総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

2月の常用雇用指数は前年を下回った。所定外労働時間は前年を上回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2)

2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2024 年 3 月	6 月	9 月	2024 年 12 月	2025 年 1 月	2 月
常用雇用指数	1.1	▲0.1	0.1	▲0.7	▲0.5	▲1.5
所定外労働時間	▲9.5	6.3	5.2	12.6	5.6	7.4

〈資料〉山形県

2月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標

2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2024 年 3 月	6 月	9 月	2024 年 12 月	2025 年 1 月	2 月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.3	4.9	3.4	9.5	5.3	3.8
きまって支給 する給与	1.3	1.6	4.8	5.3	5.1	3.8

〈資料〉山形県

5. 企業倒産 . . . 倒産件数は、概ね前年並みとなっている

4月の企業倒産(負債額 10 百万円以上)は7件、負債総額は 20.3 億円となった(前年同月は4件、2.6 億円)。

(図表 12) 企業倒産

件、億円

山 形 県	2024 年 6 月	9 月	12 月	2025 年 2 月	3 月	4 月
件 数	6	6	11	3	9	7
負債総額	4.7	4.5	31.6	20.9	14.6	20.3

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価 . . . 前年を上回った

3月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2020 年基準、前年比、%

山 形 市	2024 年 6 月	9 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
総 合	3.4	2.9	4.0	4.5	3.9	3.7
生鮮食品を除く総合	3.1	2.8	3.4	3.5	3.1	3.2

〈資料〉山形県

7. 金融

2月の県内預金(銀行+信用金庫)は、概ね前年並みで推移している。県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。この間、貸出金利は、緩やかに上昇している。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山 形 県	2024 年 3 月	6 月	9 月	2024 年 12 月	2025 年 1 月	2 月
実質預金+CD (末残前年比)	0.2	0.3	▲0.5	0.3	▲0.1	▲0.1
貸出金 (末残前年比)	4.6	4.3	3.4	4.1	4.8	3.8

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山 形 県	2024 年 4～6 月	7～9 月	10～12 月	2024 年 12 月	2025 年 1 月	2 月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	0.018	0.021	0.074	0.053	0.012	0.010

2月末水準
1.001%

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以 上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL : 023-622-4004